

米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会は10月12日(金)に防衛省を訪れ、防衛副大臣へ抗議を含む要請書と署名を提出しました。

熊毛地区1市3町の首長及び議長でつくる協議会は、10月12日(金)に防衛省を訪れ、長島昭久防衛副大臣に対して、9月に防衛省職員が馬毛島の現地視察を行ったことに対する抗議と、今年度の馬毛島への陸上空母離着陸訓練(FCLP)施設関連予算の執行停止、候補地からの除外など、追加の署名を提出の上、強く要請しました。

◆事前連絡もない防衛省側の突然の現地視察に強く抗議

9月26日、防衛省は協議会には事前に何の説明もなく、馬毛島の現地視察を行いました。

これまでの歴代の防衛大臣及び防衛副大臣並びに民主党等が協議会に対して何度も回答してきた「地元の意思を無視して進めることはない」という約束は、今回も守られませんでした。



長島防衛副大臣に要請書を提出する協議会会長及び副会長
(於：防衛副大臣室)

協議会会長である長野西之表市長は、長島副大臣に対して、「なぜそういった対応がされるのか、種子島・屋久島を含めて、周辺自治体は怒りに感じている。今後も意思が変わることはない。」と強く抗議を行いました。

川下副会長(中種子町長)からは、「地元の意思は変わらない。」、梶原副会長(南種子町長)からも、「住民感情は反対である。」と抗議しました。

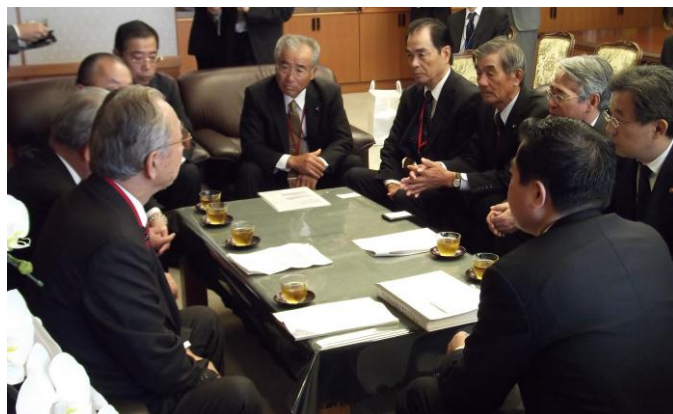
◆防衛省の対応に対して「何度も来させんごとさせてくれ！」との要請

平成19年に馬毛島へのFCLP施設移転の話が浮上してから協議会が防衛省に対して行った要請活動は今回で12回目となります。

当初は、「候補地として検討していない。」と説明していた防衛省・政府側の回答

が、突然、昨年 6 月に地元に必要な説明もないまま、「馬毛島が検討対象となる旨
地元に説明することとしている。」と日米共同文書に明記されたのです。

昨年度と今年度だけでも 6 回を数える候補地からの除外を求める要請活動に対する防衛省側の誠意の見えない対応に対して、今回の要請活動時には、協議会委員から、「(問題を終結させて)何度も来させんごとさせてくれ！」との発言もありました。



要請活動を行う協議会委員（於；防衛副大臣室）

また「法治国家である日本で、法を犯して開発がされている馬毛島に整備はいかなものか」との意見も出されました。

長島昭久防衛副大臣からは、

「地域の皆様のご理解をいただければ進めようにも進められない。皆様方にはしっかりと説明をさせていただいて、ご理解いただきたい。」との従来の防衛省側の説明を繰り返しました。

長野会長は、最後に「協議会は住民の暮らしを守るため、地域の振興や地域の安全・安心など、将来のことを考えて反対であり、そのことは変わることはない。」と伝えました。

◆署名の追加提出

今回の要請活動時に新たに 2,506 名分の反対署名を提出し、署名総数は

馬毛島への米軍訓練施設等の移転に反対する署名

反対署名数 219,473 名

【内訳】

自治体名	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	熊毛地域 小計	熊毛地域 以外	計
署名数	11,201	5,089	3,314	7,386	26,990	192,483	219,473
人口に対する割合	66.8%	58.2%	53.4%	54.1%	59.5%		

熊毛地区の住民の方々の方々の約 6 割が署名をしていただいています。